

災害に備えて

～災害が起きる前にできること～

今年も全国各地で洪水や土砂災害による被害が続出しています。

近年は、局地的に短時間で集中的な雨量をもたらす「ゲリラ豪雨」が多発し、またその発生予想が困難なために対応が遅れ、死者が発生した事案も多くあります。

福井地方気象台は今年5月27日から、警報や注意報の区域等について、これまでより詳細な地域ごと（市町単位）に発令することとなり、市としても避難勧告などの判断材料となります。

さらに、防災行政無線局の整備や携

帯電話による緊急メールサービスの配信を開始したことにより、情報伝達が多様化し効果的になりました。県の河川・砂防総合情報（インターネット）では、各地の雨量や河川水位、土砂災害危険度情報を随時確認できます。

4月に全戸配布しました「洪水・土砂災害ハザードマップ」を参考に、避難経路・避難場所の確認や非常持ち出し品の準備など、家族やご近所のかたと一緒に防災対策について取り組みましょう。

土砂災害避難訓練を実施しました

6月27日（日）の早朝、鹿谷町保田区内において市内では初となる土砂災害を想定した避難訓練を行いました。

当日はあいにくの雨模様ながら、区民など約180人が訓練に参加し、AEDや簡易担架づくりの講習、土砂災害に関する研修会が行われました。

今後も地域の自主防災組織と協力し、さまざまな場面を想定した訓練を実施していくことで、災害に強いまちづくりの実現を目指します。



災害時要援護者の避難誘導状況（保田区）

エコ環境都市を目指して

協力団体等募集中 食用廃油を リサイクル

荒土町にある社会福祉法人大日園では、平成19年から食用廃油のリサイクル事業により、障がい者の雇用拡大を図っています。

スーパーや調理業者などから1か月あたり約2000リットルの食用廃油を回収して、園内の作業場でろ過・精製し、再加熱燃料として販売しています。

大日園の遍照恵次次長は「廃油を市民単位でも回収していただけるようになれば、ごみの減量化や水環境への負荷軽減につながり、廃油に対する市民のエコ意識も変わってくるのではないでしょ

うか。」と話しています。

大日園では、食用廃油を提供してもらえる企業や団体、個人を募集しています。食用廃油をごみとして出さずに大日園に回収してもらい、リサイクルしてはいかがでしょうか。

社会福祉法人大日園

☎89・2210



回収した廃油をろ過・精製している様子

地球のためにできることから始めよう 「かつやまエコチャレンジ」

「かつやまエコチャレンジ」とは、市内の小学5年生から中学3年生とその家庭に対して、地球にやさしい取り組みや、地球温暖化防止活動の1つである「環境家計簿」を提案し、夏休み期間中に実施してもらうものです。

平成24年に勝山市で開催される「環境自治体会議」に向けて、市民一人ひとりが日常生活において環境に配慮した行動に取り組むことで、エコ環境都市の実現をめざしています。

地球のために、まず身近でできることから始めてみましょう。

生活環境課 ☎88・8104



9月1日は『防災の日』

関東大震災が発生した9月1日は『防災の日』です。また9月1日を含む1週間を「防災週間」として、全国各地ではさまざまな避難訓練や防災フォーラムが開催され、勝山市においても、下記のとおり防災訓練等が行われます。

福井県総合防災訓練

とき 8月29日（日）
午前8時30分～

●大野会場

ところ 大野市

奥越ふれあい公園
訓練内容 地震と風水害を想定した、孤立集落や天然ダムが発生した時の対応や、災害時要援護者の避難訓練

●勝山会場

ところ 教育会館、すこやか、（避難訓練）市内避難所15箇所（通信訓練）
対象 元町1丁目、沢町1丁目、本町

防災フォーラム

とき 8月31日（火）午後7時～9時
ところ 教育会館ホール

内容 講演およびパネルディスカッション

講演 「私の防災力を高めるには」
講師：富士常葉大学 客員教授 井野 盛夫氏

パネルディスカッション
テーマ：「地震に備えて 私たちは何ができるか」

防災ポスターコンクール

テーマ 地震、台風、豪雨、豪雪などの自然災害
対象 小・中学生
応募締切 9月6日（月）
※作品は各学校へ提出してください

自主防災組織育成事業助成金

自主防災組織の立ち上げと組織力強化を目的に、講演会の開催や備品の購入などに対する助成を行っています。

- ◆自主防災組織設立補助金
補助対象経費の3分の2以内（上限20万円）
- ◆組織設立の翌年度以降の活動補助金
1組織あたり1万円

勝山市緊急メールサービス

防災情報や気象情報、火災情報、クマ情報が配信されます。



ぜひ、登録をお願いします。

総務課 ☎88・1116

地球環境に優しい電車を利用しよう

えちぜん鉄道は、平成15年の開通より右肩上がり利用者数を伸ばしてきましたが、平成21年度の利用者数は、約311万人となり平成20年度より2%減少しました。勝山市内にある駅の利用者も、ここ数年は横ばい状態でしたが平成21年度は対前年比で3%減少しています。

鉄道はマイカーと比べると、人ひとりを運ぶのに発生する二酸化炭素の量が約9分の1ですむなど「地球環境にやさしい乗り物」です。「地球環境保全の面からも「えちぜん鉄道」を積極的にご利用ください。

◆えちぜん鉄道に乗って

映画を観に行こう

勝山市電車利用促進会議では、夏休みなど長期休暇中に「えちぜん鉄道」に乗って福井駅前の映画館を利用すると、映画料金が割り引きされる補助券を勝山駅で発行しています。この機会に家族で電車を利用してみませんか。

えちぜん鉄道勝山駅 ☎87・0098

◆ミニ鉄道博物館と

エコ環境都市PRイベント

とき 8月14日（土）

午後1時～4時

場所 勝山駅前

内容

①ミニ鉄道博物館

鉄道資料の展示、「テキ6」の車内見学

②ギャラリー電車（事前申込必要）

子どもたちに電車の絵を描いてもらい、その作品を実際に走っている電車内に展示

③エコ体験イベント

エコチャリ、電気自動車の展示、エネルギー体験など

参加料 無料

その他 当日、電車で来場された方には粗品を進呈します

生活環境課 ☎88・8104

